

【禁忌（次の部位には使用しないこと）】

損傷皮膚及び粘膜〔吸収され、中毒症状を起こすおそれがある。〕

【組成・性状】**1. 組成**

110g中 日本薬局方 フェノール 100g含有。

2. 製剤の性状

本品は無色又はわずかに赤色を帯びた液で、特異なにおいがある。本品はエタノール(95)、ジエチルエーテル又はグリセリンと混和する。

本品とグリセリンの等容量混液は水と混和する。

本品は光又は空気によって徐々に暗赤色となる。

本品は皮膚を侵して白くする。

比重 d_{20}^{20} ：約1.065 沸点：182℃以下

【効能・効果】【用法・用量】

| 効能・効果 | 用法・用量 | 本品希釈倍数 |
|--------------------------------------|------------------------------|-------------------------|
| 手指・皮膚の消毒 | フェノール1.5～2%溶液を用いる。 | 45～60倍希釈 |
| 医療機器の消毒、手術室・病室・家具・器具・物品などの消毒 | フェノール2～5%溶液を用いる。 | 18～45倍希釈 |
| 排泄物の消毒 | フェノール3～5%溶液を用いる。 | 18～30倍希釈 |
| 下記疾患の鎮痒 痒疹(小児ストロフルスを含む)、じん麻疹、虫さされ | フェノール1～2%溶液、または2～5%軟膏として用いる。 | 45～90倍希釈 18～45倍希釈の軟膏 |

【使用上の注意】**1. 重要な基本的注意**

- (1) 原液又は濃厚液が皮膚に付着した場合には腐食及び吸収され、中毒症状を起こすことがあるので、直ちに拭きとりエタノール又は多量の水でよく洗い流すこと。
- (2) 眼に入らないように注意すること。入った場合には水でよく洗い流すこと。
- (3) 本剤は必ず希釈し、濃度に注意して使用すること。
- (4) 炎症又は易刺激性の部位に使用する場合には、正常の部位に使用するよりも低濃度とすることが望ましい。

外用殺菌消毒剤**日本薬局方****劇 液状フェノール******〈液状フェノール「日医工」〉****LIQUEFIED PHENOL****500mL**

**2012年6月改訂(第4版)

*2009年6月改訂

貯 法 保存条件 遮光、室温保存
容 器 気密容器
使用期限 ラベルに記載
規制区分 劇薬

日本標準商品分類番号 872619

承認番号 16100AMZ00089000
**薬価収載 2012年6月
販売開始 2006年1月
再評価結果 1982年8月

製造番号

使用期限

製造販売元
日医工株式会社
NICHII-KO 富山市総曲輪1丁目6番21

第3石油類危険等級Ⅲ水溶性
火 気 厳 禁

2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

| | |
|-------------------|------|
| | 頻度不明 |
| 過敏症 ^{注)} | 発疹等 |

注)このような症状があらわれた場合には使用を中止すること。

3. 適用上の注意

(1) 投与経路：外用にのみ使用すること。

(2) 使用時

- 1) 密封包帯、ギプス包帯、バックに使用すると刺激症状及び吸収され、中毒症状があらわれるおそれがあるので、使用しないこと。
- 2) 長期間又は広範囲に使用しないこと。〔吸収され、中毒症状を起こすおそれがある。〕
- 3) 誤飲を避けるため、保管及び取扱いには十分注意すること。
- 4) 合成ゴム製品、合成樹脂製品、光学器具、鏡器具、塗装カテーター等には、変質するものがあるので、このような器具は長時間浸漬しないこと。
- 5) 金属器具を長時間浸漬する必要がある場合には、腐食を防止するために0.5～1%の亜硝酸ナトリウムを添加すること。

【包装】 500mL**【問い合わせ先】**

*日医工株式会社 お客様サポートセンター
〒930-8583 富山市総曲輪1丁目6番21
☎(0120)517-215 Fax(076)442-8948

〈調剤包装単位用〉



(01)04987376594592

〈販売包装単位用〉



(01)14987376594513



キャップ

ガラス：ボトル